



黒くて太く垂れ気味の眉毛。野心を秘めたキラキラと光る瞳。もしも俳優であったなら、水戸黄門にも悪代官にもなれそう。不思議な魅力をもった政治家でした。というより、時には自ら悪役を買って出たような印象すらあります。

政治家 石井一

259



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

で、その2週間前に亡くなられた夫の卓二郎さんの死因は慢性心不全でした。今回は心不全について少し説明をしましょう。

心臓の機能が、何らかの原因で障害された状態を「心不全」といいます。つまり、ある特定の病名

を指すものではありません。日本循環器学会などによる一般向けの定義としては、「心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり生命を縮める病気」とあります。

その内、「急性心不全」とは、全身に血液を送り出す心臓の機能が急激に低下してしまう病態です。心筋梗塞や致死性の不整脈の先にある病態といってもいいでしょう。一方、「慢性心不全」とは高血圧、糖尿病、慢性腎臓病などの生活習慣病が進行した結果、心

機能が慢性的に低下している状態をいいます。

2つは違う病態かといえばそうではなく、慢性心不全の人が急激に悪化して急性心不全で亡くなることもあります。動くときに息切れがある、食欲もなくなった、運動機能が落ちた、下腿の浮腫やむくみがあり短期間に体重が増えたなどの症状があれば、すぐに循環器の専門医を受診してください。

ピンさんは、常にエネルギーで、見るからに血圧の高そうな人でした。印象に残っているのは1977年、日本赤軍が日航機をハイジャックしたダッカ事件のこと。政府派遣団として犯人側との交渉役であったピンさんは「自分が人質になる」と申し出たのです。交渉はうまくいきませんでした。命を賭ける覚悟で臨んだピンさんの姿は、今でも脳裏に焼き付いています。歯に衣(きぬ)着せぬ発言も多く、様々な評価がある政治家でしょうが、最後までキラキラ熱く生きた人であることは間違いありません。

悪役も買って出た熱いピンさん

「一(ピン)さん」と呼ばれ親しまれていました。ピンさんがピンピンコロリで逝ってしまった。

先週この連載で取り上げた浜田麻記子さんも死因は急性心不全